



春まつりレンタサイクル 大車輪！

そこをまっすぐに行って 横断歩道の手前を左に曲がり、三つ目の交差点を渡り、右にまっすぐに行くと桜並木が見えるはず・・・(関連記事 4・5ページ)



活動報告

- 3月15日 まちづくりフェスタ(福井市)
- 29日 ふくい春まつりレンタサイクル事業説明会
- 4月3日~5日 ふくい春まつりレンタサイクル
- 5日 臨時理事会
- 10日~12日 ふくい春まつりレンタサイクル

- 14日 モビリティウィーク&カーフリーデー準備会
- 17日 例会・理事会

今後の予定

- 4月29日(水) 臨時理事会
- 4月下旬 のりのりマップ第6版発行予定
- 5月17日(日) 総会、記念講演会、第1回MW&CFD実行委員会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

対距離課金による道路整備 根本敏則・味水佑毅著
日本交通政策研究会研究双書24 勁草書房
3400円+税 ISBN978-4-326-54814-9 C3333

2008年10月発行の本であるから、中身は道路財源論争盛んな昨年も執筆中で国土交通省道路局のメンバーもおおむねの中身は承知していたはずである。そのわりに道路財源論争が経済学的に低級だったことは残念である。この本は、少し経済学的素養がないと難しいが、道路課金のあり方を総合的かつ学術的に整理された良書である。大学の公共経済学の副読本にもおすすめしたい。字数の制限もあるので、キーワードだけ挙げる。

整備財源調達・対距離課金・受益者負担・海外事例・車種間・地域間・需要管理・道路容量の最適化。

また、目次にはないが、平均費用、限界費用、短期、長期など、経済学的に必要なつぼはすべて押さえてある。「アクアラインなど、更新費用調達を考えなければ料金を渋滞するぎりぎりまで安くしてたくさん利用してもらったほうが社会的効用は大きい」といった当たり前の結論も導かれるのである。

アクアラインの更新費用は別にアクアライン利用者から集めなくても、湾岸道路の混雑課金で賄えかもしれないが、そこまで複雑な計算例は残念ながら提示されていない。しかし、福井の人には身近な、湖西道路を例としたバイパスと一般道路の最適料金問題の計算例は出てきて興味深い。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

平成21年度定例総会のご案内

平成21年度定例総会を下記の要領で開催致しますのでご案内させていただきます。みなさん奮ってご出席下さい。なお、後日改めてご案内致します。ご欠席の場合は委任状のご提出をお願い致します。

平成21年度定例総会

日時：2009年5月17日(日)10:00～12:00

場所：AOSSA 6階 601A号室

- 議題： 第1号議案 平成20年度事業実施報告
第2号議案 平成20年度収支決算監査報告
第3号議案 平成21年度事業計画
第4号議案 平成21年度収支予算



記念講演『望月真一氏講演会』

日時：2009年5月17日(日)【13:00開場】13:30～15:00

場所：AOSSA 6階 601A号室

演題：(仮題) “モビリティウィーク&カーフリーデー”をどうまちづくりに展開するか
～ヨーロッパの取組みと日本での実施状況～

望月真一(もちづき しんいち)氏 プロフィール

カーフリーデージャパン/アトリエUD I都市設計研究所代表

ヨーロッパモビリティウィーク 日本担当コーディネーター

建築家、プランナー、アーバンデザイナー

1949年東京生まれ。1973年早稲田大学理工学部建築学科卒業。1975年同大学院都市計画修士課程終了。著書に、『フランスのリゾートづくり』(鹿島出版会)、『新しい交通まちづくりの思想』(共著、鹿島出版会)、『アーバンデザインという仕事』(すまいの図書館)、『路面電車が街をつくる 21世紀フランスの都市づくり』(鹿島出版会)ほか

モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2009 第1回実行委員会

(MW&CFD)

日時：2009年5月17日(日)15:30～17:30

場所：AOSSA 6階 601A号室

- 議題： ・実施内容
・運営体制など

懇親会

講師の望月真一さんを囲んで、ROBAメンバー、MW&CFD実行委員による懇親会を行います。

日時：2009年5月17日(日)18:00～20:00

場所：ガレリア元町「庄屋」

会費：3,000円程度を予定



以上

【参加者】 内田会長、清水理事、林(照)理事、堤端理事、高橋さん、鳥居

午前中の成果発表会では、まず「学生発 地域のまちづくり企画」として仁愛大学の2つのグループから発表があった後、「民学協働推進コース・NPO協働推進コース」の成果発表で、美山地区、森田地区、東郷地区の活動内容が紹介されました。



その中で、林(照)理事が「くるまに頼らない人にやさしいまちづくり」の取り組み（森田地区文化委員会とROBAの協働成果）を発表され、発表終了後、司会者からの質問に発表者3人が順番に答える形式で進められていました。学生の発表と比べると1グループあたりの発表時間が短く、言いたいことが十分伝えられなかった面もあったかと思えます。



午後からは、テーマ別に活動における課題を出しあうワークショップや、まちづくり川柳の受付、交流タイム（NPOの各ブースを自由にまわって意見交換）などが行われました。ROBAのブースにも興味を示していただいた方が何名かおられて、特に、「楽 放課後楽校」の副代表の方とは、子供の頃から電車やバスに乗る経験をさせることで、社会性や公共性を身につけさせることが重要との意見で一致しました。

駅前レンタサイクルのメモ帳から

(文：塚谷 康夫、写真：松原 光也)

4月3日～5日、10日～12日の6日間にわたって行われた福井駅前レンタサイクルでしたが、スタッフたちが実際の業務にあたって気がついたこと、反省すべき点などを業務後にメモ帳に書き込んでいます。以下、そのメモ帳からいくつかピックアップしてみます。

レンタサイクル実施の件が JR 福井駅長にあまり伝わっていなかった。実施主体である福井市の観光開発室に電話で問い合わせたところ福井駅長の失念であることがわかったが、実施前に JR にあいさつに出向くなどの配慮が足りなかったようである。

レンタサイクルを借りにくるお客さんは JR の列車が到着後にまとまって来られる。複数のお客さんが殺到して慌ててしまい、保証金(¥500)を預かるのを忘れてたり十分な説明ができないうちになってしまったりするようなケースがあった。

レンタサイクルを借りにくるお客さんよりも、店舗や銀行やバス・電車の乗り場を探したり、観光地に行くにはどのようにして行ったらよいかということを探ねたりするお客さんのほうが圧倒的に多い。「レンタサイクル」と看板を掲げているが、実際のところ、“モビリティセンター”のような機能を果たしている。市から受託したのが公共交通に強い ROBA でよかった。もし、単なる自転車愛好家だったら、そのような質問には答えられないのではないかな。

4月4日は雨だった。この日のお客さんは全部で5人のみ。この春から県立病院付属の看護学校に通う親子が通学の道のりを確かめるために借りていったほか、競輪場に行くために利用したオジさんもいた。

それ以外の日は大盛況。連日20人を超える利用があった。やはりこの季節は自転車に乗るには適しており、利用が多い。

レンタサイクルの利用申込書を書くのをいやがる中国人らしき人がいた。手続き上個人情報を書くことが必要なので、それがいやだったようだ。非常時の連絡先としてお客様の携帯電話番号を書いてもらい、その番号にスタッフの携帯から電話をかけスタッフの番号に返信してもらうよう説明していたが、個人情報保護のため、用が済んだら発信した携帯電話番号をメモリーから確実に消去することにした。

帰りが遅かったためお客さんに電話してみると、「えちぜん鉄道のサイクルトレインを利用して、東尋坊までサイクリングしに行った。いま電車の中だから福井駅につくまで待ってほしい」とのこと。結局30分オーバーで帰ってこられた。



さて、どの自転車にしようかな～



(アンケート記入) 乗り心地はいかがでしたか？

福井市委託事業・レンタサイクルを開催しました！！

レンタサイクルの概要

開催目的：
・ふくい春まつりに訪れる人の周遊性を高めたまちなか観光の促進する。
・都市交通の渋滞緩和と環境の改善のための自転車利用を呼びかけ、市民意識の高揚を図る。
・レンタサイクルの社会実験を実施し、福井市自転車利用促進計画に基づく自転車利用のための基礎資料とする。

開催主体：福井市観光開発室(H20 事業のため旧名称)およびROBA

開催期間：4月3(金)、4(土)、5(日)と10(金)、11(土)、12(日)の6日間、

貸出時間：午前10時～午後5時。貸出期間1回あたり当日のみ

実施場所：JR福井駅西口広場内

使用自転車：12台(放置自転車を修理して使用)

利用料金：無料(申込時に保証金500円を受け取り、返却時に保証金を返却)

利用対象：高校生以上

予約受付：窓口での受け付けのみで事前予約は受け付けない

ROBAでは初めてのレンタサイクル事業です。4月第1週目はとても寒く凍えるような金曜と土曜でした。しかも土曜日は朝から雨が降り出し、忙しさとの戦いではなく寒さとの戦いでした。そんな雨でもお客さんは来るもんですね。今年4月から県立看護専門学校に通う女の子はお母さんと一緒にやってきて、自転車で通うとどうなるかを試したいようで、カッパを着て雨の中をピューと走っていきました。12日の日曜日は足羽山まで登った人や、えち鉄で東尋坊までサイクリートレインをしてきた人など、色んな利用をしたようです。今回は春まつり期間中に合わせて開催したので利用者は県外の方が中心で皆さんに大変喜ばれましたよ。また、レンタサイクルの仕事以上にこのテントの中は、観光案内所であったり、公共交通案内所(トラジツセンター)だったり、交流の場だったりで大忙しの日々をすごしました。来年もROBAが関われるなら、今年の実験で得たノウハウを活かしてパワーアップしたいと思います。

今回のこの事業はROBAのミーティングテーブル企画でレンタサイクルが盛り込まれているのを知って、福井市さんが是非一緒にやりませんか！と声をかけていただいて実現しました。ROBAは秋のレンタサイクルの予行練習になったことは勿論、書類作りから企画内容・運営まで勉強になることだらけでした。本当にお世話になりました。(報告 はたみゆき)



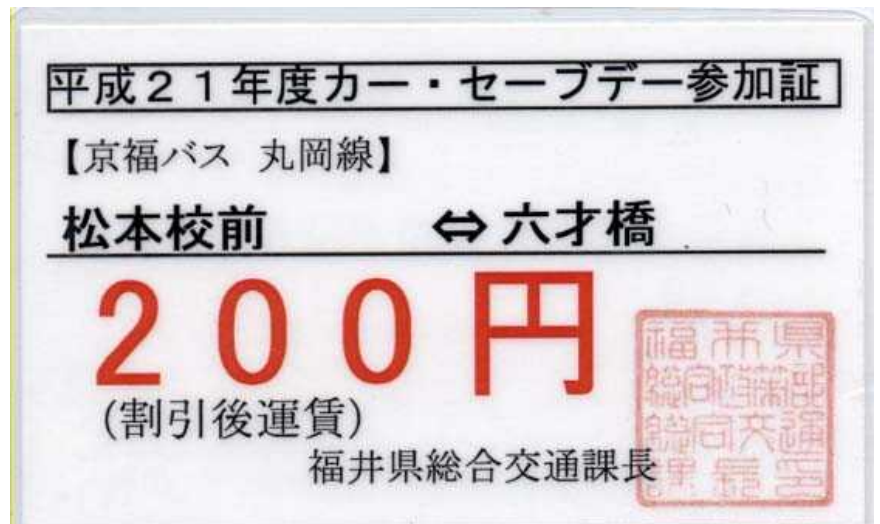
「ふくい春まつり・越前時代行列」の開催期間であり、足羽川や足羽山の桜の見頃となるこの時期は、福井市街地が「まちなか散策」観光客で最も賑わいを見せる時期です。

このような時期に、ROBAさんのご協力を得て、レンタサイクル事業が行え、利用された観光客の満足された姿を見たり、アンケートを通じて利用者ニーズを知ったりすることができたのは、これからのまちなか観光を考える上で、とても有意義であり、皆さまのご協力に対し、感謝の念に耐えないところです。

レンタサイクルの運営にあたっては、単なる自転車の貸し出し業務にとどまらず、観光案内やバスの乗り継ぎ案内、さらには休憩所としての場所提供にいたるまで……。JR福井駅西口広場という立地も手伝って、まちなか総合案内所的な役割が求められる中、にこやかに対応していただいたROBAスタッフの皆さまのご苦勞に感謝するとともに、和気あいあいと楽しげに従事されていたROBAスタッフの皆さまの姿に感激をおぼえました。

冷たい風が吹き、日が陰るたびに寒さが身に染む中で、たくさんのスタッフの皆さまにご尽力いただき、お陰様で、たくさんの観光客の方に喜んでいただくことができました。本当にありがとうございました。
(福井市役所観光開発室 片岡)

照ちゃんの気になる風景 part17



春です。また、バス通勤の季節がやってきました。自宅から自転車で六才橋バス停まで行き、松本校から会社まではまた自転車に乗ります。

なんと、春休み明けの4月9日、六才橋から6人も乗車しました。県立聾学校の生徒が3人、高齢者の女性1人、若い女性1人に変集長。これは、座れないかなと思いきや、ガラガラ。昨年度は通学の高校生も多く、座れない時も多くありました。個人的には、渋滞の中(森田八重巻から高木交差点)で座れるのはうれしいのですが・・・もっと乗ってほしいなあ！

さて、平成21年度カー・セーブデーが始まりました。運賃割引の適用になる日が第2第4金曜日から、毎週金曜日に拡大しました。(通常270円が200円に割引)今までは、参加証の提示を忘れることもあったのですが、毎週金曜日になったことで利用しやすくなりました。でも、最近、忘れっぽいので提示せずに降車するのではと、ちょっと心配ですが・・・。

作 / 漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「福井市はツカッチャ王カード配布(定額給付金)。国が
儉約より無駄使いを勧めるとは・・・トホホ！」

塚谷(副編集長)

「足羽山の上まで行けるさくら号バスも大盛況！」

内田(発行責任者)

「定額給付金ではなく低額給付金だね！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>